

令和6年度 第2回 経営協議会 議事要録

日時 令和6年6月26日(水) 15:00～17:15

場所 事務局1号館2階会議室 ※ オンライン会議システムを併用

(構成員) 益議長, 石田(義)委員, 河村委員, 久間委員, 高橋委員, 谷口委員, 土屋委員, 中村委員, 後藤委員, 佐藤委員, 井村委員, 桑田委員, 芝田委員, 石田(善)委員, 渡辺委員, 川端委員

(構成員以外) 小倉監事, 三矢監事, 湊屋学長相談役, 山田副学長, 神田副学長, 岡村副学長, 林副学長, 大嶋副学長, 伊東副学長, 湯浅副学長, 関係部課長

○ 令和6年度第1回経営協議会議事要録(案)の承認

○ 審議事項

1. 中期計画に示した評価指標の令和5年度自己点検・評価について

佐藤理事・副学長から, 資料1に基づき, 第4期中期計画に示した評価指標の進捗状況について, 各本部等にて自己点検・評価を行った案について説明があり, 審議の結果, これを了承した。

なお, 経営協議会了承後, 本学WEB上で公表する旨補足説明があった。

【主な意見等】

- ・2022-2023 総論文数が主要大学で下がっていることについて検討中であるが, 2024の結果を見て対応を考えたい。
→質の問題もあるので, 一定以上の数があれば, 過度に気にする必要はないのではないか。
- ・第4期中期計画は文科省から提示された項目から選択する方式だったため, 本学独自のチャレンジングな項目は大学独自で策定しているアクションパッケージに記載している。
- ・東京医科歯科大学との統合に伴い, 中期目標・中期計画も合体する必要がある, 両大学で検討中である。

2. 令和6年度国立大学改革・研究基盤強化促進補助金(国立大学経営改革促進事業)への申請について

佐藤理事・副学長から, 資料2-1及び資料2-2に基づき, 令和6年度国立大学改革・研究基盤強化促進補助金(国立大学経営改革促進事業)への申請について, 申請の締切日の関係から, 同事業へ申請すること自体に承認をいただきたいこと, 申請内容の方向性を確認いただいた上で, 最終的な申請内容は学長に一任いただきたい旨説明があり, 審議の結果, これを了承した。

【主な意見等】

- ・シナリオは二大学で作成したのか。ヒアリング時には柱となる取組において具体的でインパクトのある回答を用意しておいたほうが良い。
→大きなシナリオは両大学で作成した。申請は二大学連名で行い, 採択後に経費を執行するところからは一大学となる。ヒアリングでは柱となる取組について突っ込んだ質問があると想定されるので準備したい。

- ・別途病院改革についても全国国立大学病院に求められており、医科歯科大で準備しているところである。

3. 令和5事業年度決算について

芝田理事・副学長から、資料3-1から資料3-6に基づき、令和5事業年度決算について説明があり、審議の結果、これを了承した。

【主な意見等】

- ・新大学では、病院長には、診療経費と病院収入を四半期ごとにモニタリングし、適切な収支バランスとなるよう確認をお願いする。

4. 令和7年度運営費交付金概算要求について

芝田理事・副学長から、資料4-1及び資料4-2に基づき、令和6年度運営費交付金概算要求事項について説明があり、審議の結果、これを了承した。

5. 令和7年度施設整備費補助金概算要求について

芝田理事・副学長から、資料5に基づき、令和7年度施設整備費補助金概算要求事項について説明があり、審議の結果、これを了承した。

○ 報告事項

1. 指定国立大学法人構想の進捗状況報告について

佐藤理事・副学長から、資料6-1及び資料6-2に基づき、指定国立大学法人構想の2023年度の取り組みと到達指標の進捗状況について報告があった。

【主な意見等】

- ・指定国立大学法人構想は東京医科歯科大学とマージする必要がある。新しい構想は年内をめどに作成し、来年2月頃にヒアリングがされる予定。

2. アクションパッケージの令和5年度進捗確認結果について

佐藤理事・副学長から、資料7に基づき、令和5年度のアクションパッケージの進捗確認結果について報告があった。

【主な意見等】

- ・国際経験90%が600人とあったが、同様に計算すると今は何人くらいか。
→把握できていない。昨年度31%とあるのはアンケート調査によるもの。今回17%に下がったのは学生自ら登録してもらうシステムを2月に作ったため昨年度分のデータが取れなかった。今年度は当初から登録を呼びかけることにより30%は超えると考えている。修士修了までに90%という目標に近づきたい。
- ・修士終了までに90%は意欲的な目標。頑張ってもらいたい。
- ・継続的にデータ収集する仕組みが確立されていないのはDXの問題でもある。

- ・国立大学、国研でもDX化がうまくいっているところはあまりない。産業界でも少ない。農研機構でもうまくいってなかったが、産業界から人材を招いたらうまくいった。検討してみようか。

→大学の特質かもしれないが、システムを導入しても自前のやり方に合わせようとするとう率的にならない。また、一見DXが進んでいそうでも、そのまま電子化しただけで必ずしも業務フローの効率化につながっているとは限らない。

3. 資金の運用状況に関する報告について

芝田理事・副学長から、資料8-1及び資料8-2に基づき、国立大学法人東京工業大学余裕金運用取扱細則第26条第3項の規定に基づく資金の運用について報告があった。

【主な意見等】

- ・今はリスクのある運用が可能なのか。

→平成30年から規制緩和され、外貨建てなども可能になった。ハイリスクの運用なども行った結果、以前は1億円程度だった運用益が7億円まで延びた。

4. 令和5年度監事監査報告書について

小倉監事から、資料9に基づき、令和5年度に実施した監事監査報告書について報告があった。

5. 令和5年度監事監査に関する意見書について

小倉監事から、資料10に基づき、令和5年度監事監査に関する意見書について報告があった。

【主な意見等】

- ・以前から、東工大の監事監査の意見書については踏み込んだものだった。浸透して継続されている。教員とのコミュニケーションが取れている証左だと考える。新大学になってもこの方針で継続していただきたい。

→新大学でも継続して作成したい。

- ・部局との対話が重要と考える。

○ 意見交換事項

1. 国立大学法人ガバナンス・コードの対応状況（令和6年度）について

佐藤理事・副学長から、資料11-1から資料11-4に基づき、令和6年度における本学の国立大学法人ガバナンス・コードへの対応状況について説明があり、意見交換を行った。

【主な意見等】

- ・今後、経営協議会委員に意見照会をお送りするのでご協力いただきたい。

○ その他

学長から、資料共有により、女性限定公募の状況について紹介があった。

1. 次回開催について

学長から、次回は、令和6年9月25日（水）15：00から、事務局1号館2階会議室と

し、オンライン会議システム（Zoom）を併用して開催する旨の案内があった。

以 上

資 料

1. 第4期中期計画に示した評価指標の進捗状況に関する自己点検・評価（令和5年度）
- 2－1. R6 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）公募要領
- 2－2. 国立大学経営改革促進事業構想案
- 3－1. 令和5年度決算概要
- 3－2. 令和5事業年度財務諸表
- 3－3. 令和5事業年度決算報告書
- 3－4. 令和5事業年度事業報告書
- 3－5. 独立監査人の監査報告書
- 3－6. 令和5年度学長裁量経費について
- 4－1. 令和7年度運営費交付金「基盤的設備等整備分」の概算要求について
- 4－2. 令和7年度運営費交付金「教育研究組織改革分」の概算要求について
5. 令和7年度施設整備等要求事業（案）
- 6－1. 指定国立大学法人構想 取組の進捗状況（令和5年度）
- 6－2. 指定国立大学法人構想 到達指標の進捗状況
7. アクションパッケージの令和5年度進捗状況確認結果について
- 8－1. 資金の運用状況に関する報告について
- 8－2. （別添1）資金運用状況について（2024年1月～3月運用分）
9. 令和5年度監事監査報告書
10. 令和5年度監事監査に関する意見書
- 11－1. 令和6年度における国立大学法人ガバナンス・コードの対応について
- 11－2. 「国立大学法人ガバナンス・コード」改訂版（国大協案）（2024.3.28時点）
- 11－3. 令和6年度本学における国立大学法人ガバナンス・コード対応状況について
- 11－4. （参考資料）令和5年度国立大学法人ガバナンス・コードに係る適合状況等に関する報告書